

magazine kobekko february 1967 no, 70

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

2

1967.2

神戸っ子 昭和四十二年一月二十日第三種郵便物認可 昭和四十二年二月一日印刷 通巻七十号 昭和四十二年二月一日発行 毎月一冊

シンプルでシャレたデザイン

ミキモトパール

格調高い紳士の身だしなみに
欠かすことのできない装身具です

晴れの装いに
いちだんと風格をそえます



御木本真珠店

★ 神戸＝三ノ宮・神戸国際会館 TEL. 22-0062

大阪＝堂島・新大ビル TEL. 363-0247

京都＝ミキモトパール京都 TEL. 54-8171

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

阪神百貨店・高島屋・松坂屋

★ 本店＝東京・銀座四丁目 © 1967-2



—— 風 ——

凍花の匂いが流れてくる。

空がかぶさって、耳をすますと、女達の靴音が遠近から聞えてくる。

まるで春の予告のように。



w. 1. ml. ok. d.

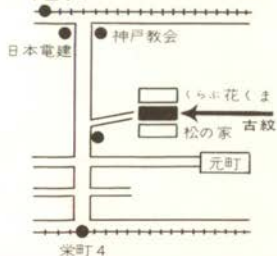
絵・詩＝津高和一



神戸市生田区花隈町45

でんわ ㊿ 0240

下山手6 年中無休深夜2時迄



東京なら新橋・赤坂 神戸なら花隈

その花隈にカウンター形式の
新しい日本料理のお店 古紋が生まれました。

50年の伝統を誇る米斗亭 本家の家が
若い神戸っ子のみなさまに
お気軽にお食事をいただけるよう
新しい雰囲気のお店をはじめました。

日本情緒もたっぷり
心をこめた季節のお料理を!!

ぜひ一度おこし下さいませ。お待ちしております。

ズームアップ

金田晴子（東南アジア文化使節・華道小原流正教授）

3

面長の顔に涼やかに見開かれた一重の眼が印象的。華道をはじめたのは学生時代に家人からお茶やお花を習うことを強制されて、それならお茶よりお花の方がまだしも自分の個性をだせるだろうと思ったのと、クラスメイトに小原権子さんがいたことが動機という。しかし、それから六年、華道に励んで今では小原流の正教授の肩書きをもつ。タイ、マレー、フィリピン（予定）など東南アジア諸国をまわる。各国で花を生け、希望の人には講習もするという「むこうでは花材がすくなく、自分で山へ行って採さなければならぬですよ。ですから着物と一緒にジーンズももってゆきます」と楽しそうに目を輝かせる。話がバタバタと決まったために準備するヒマがなく、暑い国々にもってゆく夏の服が間に合わないのが目下の頭痛のタネ。もしかして怪我もしては、と好きなスキーも今冬はあきらめた。昭和十六年生れ、神戸女学院大学英文科卒業。今度の旅行でもその教養を生かして見事に文化使節の重責を果たして、観音に尽してくれるだろう。住所は芦屋市打出翠ヶ丘二一四へ自宅でくつろぐ晴子さん。下は小原会館にて。





確信をもって
タジマの目が
選んだ
世界の
宝石の名品！

Tajima
タジマ

*** 宝石店 **タジマ** 元町2丁目〈山側〉TEL ☎ 0387・2552

タジマの特典／当店で買ったダイヤ指輪は販売価格で引取り交換をお約束しております

ズームアップ

鴨居 玲 〈画家〉

4

「ぼくはどうも話をするのが苦手で……と、すこしデレたようにゆっくりとしゃべる。語る口は重いが語られる言葉は軽快である。一昨年三月、二度目の日本脱出を試みて昨年十二月に帰国した。一番笑に入ったのはローマ、イタリア、フランスと五カ国をまわって昨放的でオッチョコチョイのところはどこか神戸っ子に通ずるものがあるという。自宅のアトリエで久し振りに取り出した出発前の画、外地で描いて迷り返した面に見入る。『ぼくはすぐに画をつぶしてしまふんですよ』若い頃の画で残っているのはアトリエの壁にかけられた十九才のときの自画像くらいだという。今は、人間の顔と手で人物を表現してみたいと抱負を語る。帰国のご感想は、ときくと、日本でも外国でも画の描けるところならどこでもいいという返答がきた。フンワリと暖かい人柄と暗い色調の彼の画は強いコントラストをえがく。これからのレイ・カモネの活躍が楽しみだ。昭和三年生。住所は芦屋市東戸屋五八（自宅のアトリエにて）





TASAKI PEARLS

如月の夜に輝やくタサキパール
きさらぎ

田 崎 真 珠

三宮店 神戸新聞会館秀品店内
本 社 神戸市萐合区旗塚通6—9



ある集い 御殿儀の会

磨きぬかれた所作台で、扇をかざすと、松を型どる振りがさつときまる。

ここは東灘区篠原本町二丁目の御殿儀の松本尚山師へ宗家81才の芸術道場。家元松本尚女師の厳しい儀の稽古が、毎日続けられている。

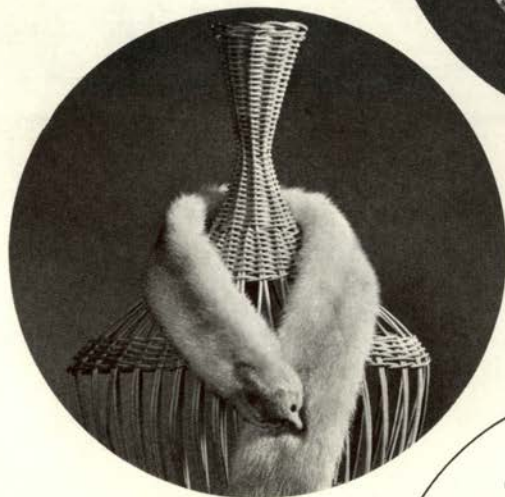
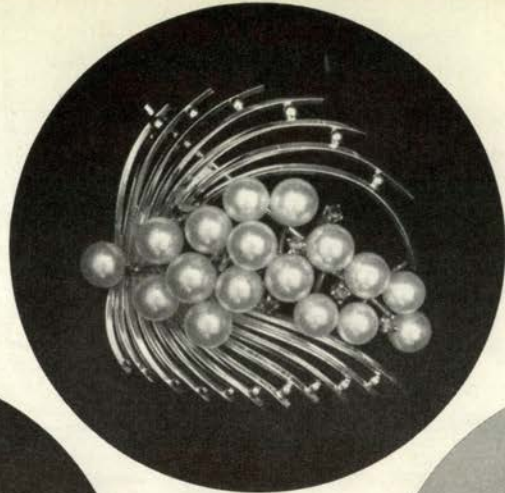
御殿儀は姫路の池田公が好んだせいひく儀といわれた武家の儀が遺されたもので、尚山師が母親から習われたものに加えて、師の深淵な芸術家としてのセンスによってみがきあげられ、現在、尚女師によって開花している儀である。

この御殿儀は日本でも非常にユニークな存在で、昨年十一月三日兵庫県文化賞を御殿儀の会として受賞した。

ひとたび所作台を降りると和気あいあいのなごやかな雰囲気、緊張した舞台をつとめた人々のかと驚くほど。尚女師のきびしさと優しさが人間形成の上にプラスされるので何より稽古が楽しいです」と語るお弟子さんの姿は芸道に励む人々の味がわく喜びをかみしめているかのようだった

写真前列は家元、松本尚女・中列は左より松本尚永次・松本尚己・松本尚永美・後列は左より松本尚广・松本尚丈・松本尚勾・松本尚千・松本尚

董 (本文41頁参照下さい)



雪の降るKOBに
暖かな毛皮 シックな
パリモード 優雅な真珠を

Murata

村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾

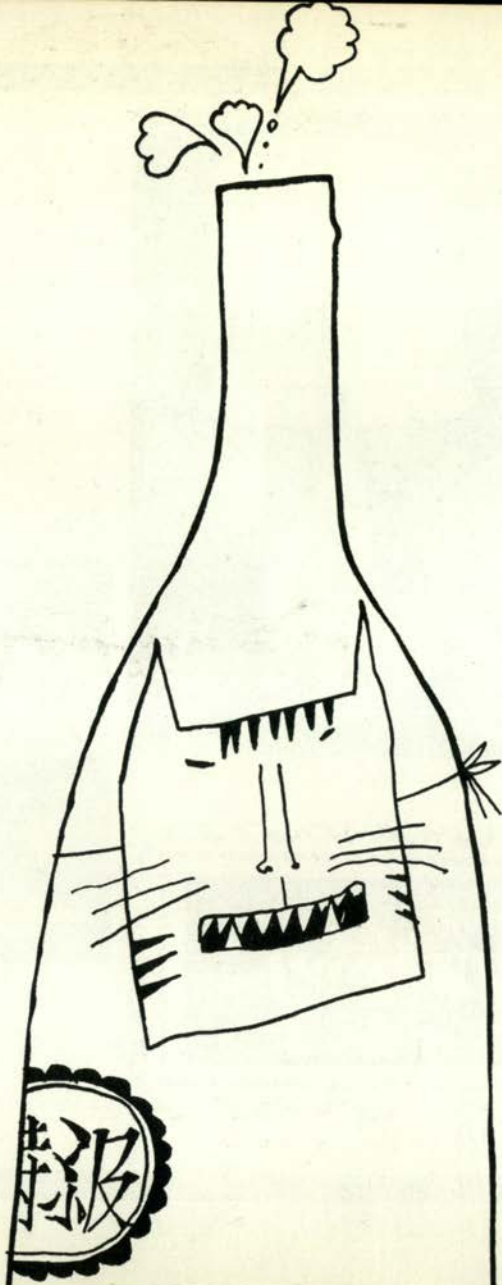


ムラタ

さんちか*レディスタウン・TEL 39-3886~7

表紙／小磯良平

- 1 SECOND COVER／津高和一
- 3 グラビア／ズームアップ＝撮影・浜岡収
3・金田晴子 4・鴨居玲
- 7 ある集いその足あと／御殿儀の会
- 11 わたしの意図／石田治
- 13 随想三題＝私の酒談義(1)／吉沢独陽
浅酌浅唱／武田芳一
酒飲みとは？／岸本通夫
- 16 ミニコミ寸評タチヨコナナメ／貝原六一
- 19 随想／お酒まんだら・朝倉斯道
- 21 随想／飲ん平の寝言・木下繁
- 23 随想／冬にもビール・古林喜楽
- 27 神戸っ子放談／玉井操・滝川博司・橋本一豊
- 32 経済ポケットジャーナル・オフィスレディ
- 35 バイオニア神戸② 呉錦堂／川辺賢武
- 41 ある集いその足あと
- 42 CINEMA(7)／淀川長治
- 44 KOBE'S SHIP LOUNGE(7)／文・玉泉章
- 46 動物園飼育日記(9)／亀井一成
- 51 れんさいマンガ④ベッコ／永井文明
- 52 男の気持③しぐさ／向井修二
- 54 愛の日はスイート作戦でいこう！
- 58 KOBE LOOK／福富芳美
- 66 酒特集①春宵神戸酒徒交歓
- 73 酒特集②座談会／昭和42年度神戸酒徒審付審査会
青木重雄・竹田洋太郎・伊藤誠
佐谷弘・田中健一郎・浜田富栄
- 79 酒特集③昭和42年度神戸酒徒審付発表
- 80 酒特集④アンケート／私と酒(経済人)
- 83 酒特集⑤アンケート／私と酒(文化人)
- 87 INGコーナー／山下耀物店・YANAGASE
- 88 神戸遊戯誌④／サッカー(1)・青木重雄
- 90 神戸うまいもん巡礼⑤／赤尾兜子
- 92 淑女入門／第二回、ドリンクング淑女＝鴨居羊子
- 94 ポケットジャーナル・ピンクコーナー<T>
- 98 一泊DRIVE／雪の鳥取、吉岡温泉・植田二郎
- 99 神戸の集いから
- 100 異人館物語／連載第五話
耽溺の詩人モラエス①・小山牧子
- 116 連載小説第十二回／兵庫の女＝武田繁太郎
- 117 対話12ヶ月／山の上で＝安水徳和・カメラ＝緒方しげを
- 120 銘店抄／ムラタ・菊水総本店＝陳舜臣
カメラ／米田定藏・赤松慶三郎
レイアウト・カット／港野千穂





→ Jolie → CASSETTE

おしゃれのエッセンスとシックなルーム
アクセサリーをあつめた色とりも豊かな
品じなと高級お仕立て・プレタポルテの
あるお店——ジョリーカセットどうぞ



高級お仕立て・プレタポルテ
舶来生地・アクセサリー・雑貨

* ジョリー **カセット**

神戸・三宮・大丸前・市電筋浜側
TEL. 神戸 39-4992

＊わたしの意見

開港100年祭は 市民こそって 楽しい祭に



石 田 治

神戸開港100年祭事務局
神戸市総務局企画課長

——神戸港開港一〇〇年を迎えて、一〇〇年祭の準備その他でなにかとお忙しいことと思いますが……。

「今年は、神戸港が慶応三年（一八六八年）に開港してからちょうど二〇〇年目にあたるので五月十五、十六の両日、盛大に「一〇〇年祭」を行ないます。

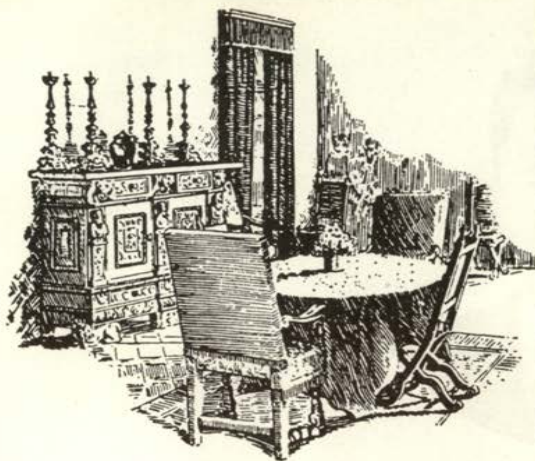
ひろく内外に神戸港の認識を深めていただくとともに一二〇万市民の皆様にこそって祝意をいただき、にぎやかに数多くの祭典をくりひろげたいと計画しています。

一〇〇年祭は祝賀式典を中央体育館で盛大に行ない、そのときシアトル港およびロッテルダム港との姉妹港の提携式があり、同時に物故功労者顕彰式を行ないます。また記念行事として神戸港一〇〇年の歩みを、カラー映画、グラフィック印刷物、展覧会などによって市民の皆様に見ていただきます。そして記念事業としては、市章山の永久電飾、貿易センターの建設、中央森林公園の整備などがあがっております。」

——市民に対してはどのようなことを求められますか？

「まず一〇〇年祭といっても市役所や商工会議所だけの式典ではなく、市民の皆さん全部の祭典ですので全市民が参加できる、巾のひろい、楽しい祭典でなければならぬと思います。式典、展覧会その他各種行事を通じて神戸港、そして神戸市への愛着を深めていただきたいのです。大都市の市民として、ともすれば失われがちな市民相互間の心のつながりを強めて行くような祭典へと盛りあげていきたいものです。そのような意味からも、市民参加行事として、祝賀パレードとか、港湾見学会などを考えておりますが、民間でも、職域団体、個人グループなどで協賛行事を開催していただけることを望みます。また、日頃文化となじみの薄い神戸のことをとて美術展、文化講演会、史蹟整備を企画しておりますが、市民の皆様からも有意義な提案をいただき、文化の香り高いものとして彩ることができると楽しいにしております。神戸市は開港二〇〇年をひとつの転期として神戸港が日本の、いや世界の貿易港として飛躍すべくコンテナ、ボートアイランドなどの事業を推進していききたいと思っております。」

神戸港の成長、発展のために、また開港一〇〇年祭を華やかで有意義な祭典にするために市民の皆様の大なご協力をお願いいたします。」



KG-HG-0018

この番号は11月1日より当社製品
(タンス・テーブル・イス)につけ
られた通産省承認の品質表示番号
です。

百貨店その他の店舗ではこの番号
の家具はございませんから、類似
品にご注意ください。

家具
婚礼調度品
室内装飾品
おあつらえ

永田良介商店

神戸大丸前 TEL ㊟ 3737~3739



をきとるの
菓子葉の
味の
伝統
イ
飾
憩
風

バウム・クーヘン
ビスケット
キングケーキ
フランクフルター・クランツ



ドイツ菓子

Fuerheim's

ユ-ハイム

本店 神戸三宮生田神社前
TEL (33) 1694・8064
三宮店 神戸大丸前市電筋
TEL (33) 2101 (33) 3808
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン
TEL (39) 3539

東京/銀座店・渋谷店 その他全国有名百貨店

題三想隨



カット／貝原六一

私の

酒談義 1

□吉沢独陽

日本文芸家協会々員・詩人

六十年も前のことである。祖父の葡萄酒醸造蔵で遊んでいるうちいくつもならんだ大桶（三十五石入）にかけてある梯子を上ると、美しく黒ずんだ葡萄酒が満々とたたえられていた。掌に吸んでなめてみた。甘酢っぱくてウマかった。つい過ぎて梯子を踏みはずし、半切桶の中へ落ち、白紺の着物がエンジ色に染め上げられ、染まった衣類は中庭の杏の樹にかけられ同歳の従妹（後のピアニスト上沼房子）の袂の着物を着せられて、

その夜の膳に座らされ、爾来、祖父が晩酌の相手をさせられるようになってしまった。五歳のこと。

祖父は医者と薬屋が好きで、倅と孫の大部分を医者と薬剤師にした。すんでのところ、私は外科医にさせられるところだったが、これを嫌って東京へ逃げだし、製薬所で丁稚をしながら苦学して薬剤師になったが、酒呑みの素質があったものとみえ、徴兵検査がすむと俄然浴びるほどの呑兵衛になった。こんなことは自慢にもならぬ。

大正十二年の関東大震災に、神田神保町で猿また一ツになり、郷里信州伊那へ避難したが、すぐまた上京して取引上の清算をし、さらに飯郷、再起を期して関西へきだが、芦屋に居を定めたのは、灘五

郷が東西に延び、酒蔵は無いがその中心地だということに他ならず海と山が近いし、兵庫県は祖先の古戦場だったということにも一因がある。二年半を夢中で働き、現住所に移ってから、詩誌「聖樹詩人」を復活し、若い人たちの出入がさかんになったが、何れも一騎当千の酒呑みばかり。ご多聞にもれず胃潰瘍でふせった。医師の注射をうけながら、一日三回は飲むし煙草は喫いつ放し。二回目の発病の時は、もう医師も肉親も友人も誰もきてくれず、寂しくなつて禁酒声明となり、いたしかたなくあれこれと調合させて服用、ついに全治した。これを聞いた宮崎脩二郎先生、早速「呑んで治した胃潰瘍」と写真入で書き立てた。困ったことに、各地からその治療法の問合せが殺倒した。彼氏は「回答を印刷してきましようか」といつてくれたが、私が開局薬剤師であるためにそれもならず、一々肉筆で答えた。それから四年過ぎたある日、B K文芸部から南江治郎と内田元が来訪。正月五日NHK全国放送プロに組み印刷もできたので、擬音伴奏三十分の「酒つくり唄」を方程式風に書けと強要され、「白鶴」東蔵で書き上げた。その時林技師長から薬だからと奨められた八年前という喇ジョク二杯によって、

私の禁酒は素飛んでしまった。

その頃、詩の全国配本雑誌を友人たちと企画し、昭和八年三月『日本詩壇』を創刊。急に全国の詩人の往来が激しくなった。昭和三年秋、瀬戸内海に投身自殺した生田春月の詩碑が、小豆島に建ち、資金集めの文芸講演会を大阪毎日日本社大講堂に開き、そのポスターが魚崎浜にあった松竹梅酒造から、銘酒「松竹梅」一樽とともに寄贈されてきた。それを福田正夫は独りで三日間に八升五合呑み、福田先輩が「福田は酒天童子のようだ」と感嘆しておられた。福田氏は翌日さらに三升を瓶につめ、鼻唄をうたいながら東京へかえって行った。私の酒量も一向に減らなかつた。

△来月つづく▽

浅酌低唱

□武田芳一

作家・医師

酒のみでない私に酒の随想をもとめられはなはだ恐縮のいたりです。

酒は若い時からあまり呑めません。年がいくと少しは強くなるだろうと思っていました。年をとってもやはり弱いので私は甘党と

いうところかも知れません。

酒で思い出すことは中国時代のことです。中国人には街道の虎は、戦前の自由時代だったが一人もいませんでした。

酔払いといえど日本人か米国人くらいでした。フランス人もイタリア人もいた上海ですが、街を酔払ってふらふらしているのはこの二国人だけでした。クーリーなど労働者の酔払いも見ませんでした。彼らは食うだけが精一ぱいで呑むところまでゆかなかったからかも知れませんが、日本でスラム階級の泥酔者をよく見かけます。

彼らは酒のために働き、酒のために生きているようです。独りで憤慨し独りで喋りながらふらふらしている人をよく見かけます。彼らは明日を考えない人です。しかし、彼らは酔った中でしか自分の生をみない人でしょう。彼の現実

は自分を痛みつける以外何もないのでしよう。憐れな落伍者です。彼らのこれまでの歴史はすることなすこと失敗の連続だったのでしよう。ただ酒のみに自分に自分を出しているのかも知れません。

中国には酒によい諺があります。酒は浅酌低唱をもつて好しとす。牛飲馬食は体を毒し、泥酔は食卓の尿瓶の如し。というのです。それにふさわしい酒席のマナーも

ありますから、中国には泥酔者がいなかったのでしょうか。

楽しく静かに呑んでいるのは他目からも気持ちのいいものですが、泥酔して同じことをくどくど繰返す尿瓶には困りものです。

むかし、文学の女友だちに酒の強い人がいました。彼女はビールなら二十本、日本酒なら一升という酒豪でした。

私は一度だけ酔った彼女と同伴したことがあります。彼女の面は平生と少しも変わっていませんでした。ただ靴をはくとき二、三度はきそこねていました。冬の冷たい風に頬をさらして歩いたのですが一度だってよろけたことはありません。変ったことといえば、こわきになっているハンドバックをすんとすんとよく落していたことと、よくお手洗へ行ったことを覚えています。男ならさしずめ太白の酒貌というところです。彼女と別れて二十数年、生きています。死んでいるか、あるいは何処かで主婦として慎ましく生活しているか、音信は絶えたままです。

彼女はいくら呑んでも浅酌低唱でした。彼女は老酒を二、三斤呑んだことを思い出します。中国では酒を一斤二斤と秤なのです。一斤が何合だったか忘れま

浅酌低唱は李太白の言葉ですが

彼は泥酔して湖で舟から落ちて溺死したのだから、太白の酒は深酌高唱だったかも知れません。

41・12・15記

「酒飲み」

とは？

□岸本通夫

大阪市大教授

「酒飲み」という言葉は、やや品がよくないような気がしないでもないが、さりとて「酒飲み」のことを何と言えばよいのか。たとえば「酒徒」といった言葉もあるが、まあそういうよそ行きの言葉はやめにして、平俗なざっくりばらんな言葉を使わせていただく。

さてその「酒飲み」であるが、そもそも——と改まることになれば、およそ人と酒との間柄は、好き嫌い強い弱い二通りを組み合わせて、「好きで強い」「好きだが弱い」「嫌いだが強い」「嫌いで弱い」の四種に帰すことになる。解り切った理屈を改めて持ちだしてみたのは、外でもない、酒というものが、「好きだから強い」とばかりは限らず、逆に「弱いから嫌い」と定まつたものでもないことをちょっと考えてみたいからである。

「好きで強い」人を「酒飲み」または「酒豪」と呼ぶべきことは言うまでもない。「嫌いで弱い」人を「下戸」ということにも異論はあるまい。問題は、「好きだが弱い」人と「強いにそれほど好きではなく、平素はさほどたしなまぬ」人の場合である。果してこの種の人々も「酒飲み」と呼んでよいものか。

我田引水にわたってはなはだ恐縮であるが、実はこの件、私自身の問題として、片時も頭を離れたことのない重大条件なのである。確かに嫌いな方でもないようだが、朝な朝な、まず仕事に取りかかるに先立って、横山大観または梅原竜三郎のひそみに習って、いわゆる「キューッと一杯」というやつこの一杯がないと仕事に取り付く踏み切りが付かないといった次第なのだが、如何にせん、酒量は決して多い方ではない、どころか、むしろいたって少ない方で、僅々両三合の酒に酔い痴れて、ぶっ倒れてしまうというくらいである。

何となく一応の「酒飲み」と認められて、神戸酒徒番付の一隅に名を連ねさせていただいていることは、光栄といえれば光栄であるよ

うなもの——。実力があって、これに相応するだけの待遇を受けないのは、そこに鬱積する不平不満が人を仕事に駆り立てるエネルギー源となるという効用もあって、悪くないものだが、これに反して、実力でもないのに、分不相応に前頭の位を汚すなどというのは、私には、はなはだ申し訳けないことに思われて、心地がよくない。

風格もあり、はるかに私の上を行く痛快な「酒飲み」の五人や十人は、私の周囲からでも、直ちに推薦できるので、速やかに然るべき酒豪にその位をお譲りして、私自身は一日も早く前頭の位から降りさせていたいただきたいのがさやかなる一酒徒としての切に切なる良心の叫びなのだが——。

たとえば、酔っ払うと長距離列車に乗ってみたくなる癖があり、一夜西行きの車中にとろとろとまどろんで、汽車が止まって眼が覚めて、みると、夜はすっかりと明け放たれ、着いたところは、山陽線は尾道であったというような豪快な某教授こそ酒徒番付の上位にふさわしいのではないか。

(昭和41・12・18)

ミニコミ寸評

タテ・ヨコ・ナナメ



美術館

設置委員会から

貝原六一

行動美術協会々員

美術館を旧武庫離宮の公園内に——という第一答申案が、知事に提出されたとの新聞報道がなされた時、都心に美術館をと願っていた美術家や美術愛好家達は、どうしたことかと、それぞれその間の事情を、私に問合せてきた。

美術館設立運動に、その最初からタッチして、その運動の中心となつて動いてきた私も、問合せの皆さんと同一の気持だったので、「そうですね、どうなつたのでしょうかね」と答える以外、そのすべがなかったが、そのあと落着いて考えて見ると、それでよいのだという気持になつてきた。

それというのも、設置委員会の方々も、皆一応は、都心に美術館

をと考えて、その調査に当られてきたことを、新聞の報道で私達は知っているからであつた。

委員の方々は、今度の答申案を出されるまでに、大倉山・諏訪山・太子の森・布引・王子公園と、出来るだけ都心に近い所を候補地にあげて、その地理的地勢的条件を検討したと聞いているが、大倉山は公園法で、諏訪山は地形的条件で、太子の森はその敷地としての狭さで、布引は山陽新幹線のトンネルの出口に当るといふ悪条件で、王子公園はその交換敷地と費用の問題で、すべて不適格となり、離宮公園のみが、都心をはなれているということを除いて、一番条件になつていないため、一応の決定を見たのではないかと思う。

更に第二答申案・第三答申案が出れば、設立される美術館の性格・規模・運営の方法がはっきりとしてきて、どうしたことかと疑問を持たれた人達も、納得されるのではないかと思う。

だが、都心に美術館をという私達の願いは、それで解消された訳ではない。しかし、都心に美術館と同じ機能を持つ美術館のギャラリーがあるとすれば、離宮公園内の美術館は、自らその性格や規模や運営が、ギャラリー的な性格を捨てて、美術館本来の独自のものでは、微することができるのでは

ないかと考える。

都心に美術館は建てられないが四十二年度には、旧県庁々舎の前に、収蔵・保管室・研修室・準備室に、控室とロビーを含む、広い美術ギャラリーを持つ県民の文化センターが建ちあがるのであるから、美術館を都心という人達の希望は、それで一応かなえられることと思う。

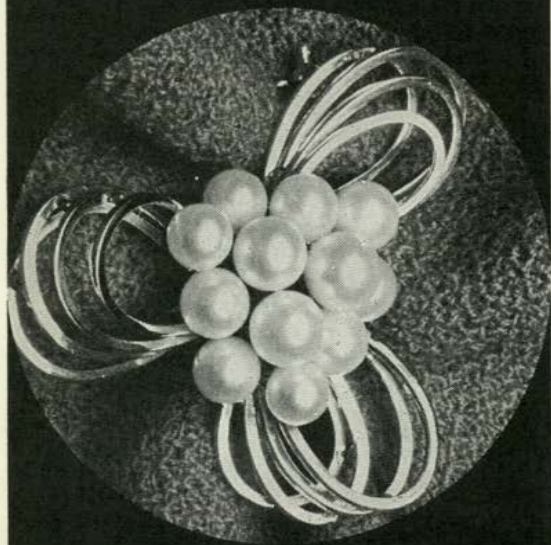
そうならば前にも述べたが、離宮公園内に建設される美術館は、十年先二十年先三十年先と、先の先を見越して、計画して欲しいものだと思う。それには、美術館の建物の敷地の倍以上の敷地を確保して、自然を勿論その中には、水の流れや池を利用した野外展示場を設置して、その規模も日本有数のものであつて欲しい。また貸ギヤラリー的な性格をはっきりと捨て、美術館独自の経営企画によつて、中央から大規模な展覧会を、誘致して欲しいと思う。

そうして、観賞動員地域を県外まで拡げれば、神戸市の都心ではなくても、県立美術館としての機能は、充分に果せるものと、私は確信している。

岡山・広島・香川・徳島・大阪・京都から見れば、離宮公園内の美術館は、それが都心になんとかいうことは、全く問題にはならないことだと思ふ。

Kitamura Pearls

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL ③③ 0072

東京：スキヤ橋店 TEL⑤71⑧032

世界の味
味覚の王者
ヒロタのマロングラッセ



洋菓子の
ヒロタ

本社★尼崎市今小路北小袋29
〈神戸〉 元町店・三宮 秀品店
さんちかスイーツタウン・生田筋店
〈大阪〉 新大阪駅前・富国店
大阪駅東口店・梅新店・ウメダ店
戎橋店・ナンバ店・天王寺店
天満店・塚本店・豊中店・尼崎店
守口店・淡路店

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店 / 三宮センター街・電話 33-8836 (代)

東店 / 三宮センター街・電話 33-0629

三宮店 / 三宮地下街・電話 39-4303

東京

銀座北店 / 銀座並木通り・電話 573-5298 (代)

銀座南店 / 銀座並木通り・電話 572-4847
(京阪神銀座タウン)

LONGINES



流行をはこぶ
ロンジン



特約店



美和時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1793

三宮店・さんちかファンシータウン TEL 33-8798